

ロシア、ウクライナへの軍事侵攻に対する声明

2022年2月24日、ロシア・プーチン政権は、ウクライナへ軍事侵攻を開始しました。全世界からの警告を無視し、ウクライナを自国勢力圏に留めるべく、実力行使に出てきました。

ロシア軍は、民間人、民間施設に対して、無差別攻撃を行ない、現時点で子供27人を含む406人もの民間人の命が奪われました。この軍事侵攻で一番の犠牲者は、命令によって出動した兵士や巻き込まれた民間人です。

JR貨物労組青年部は、沖縄平和研修・平和行進等の平和学習を通じて、命の尊さ、戦争の愚かさを学んできました。

JR貨物労組青年部は、今回のロシアの軍事侵攻を激しい憤りをもって抗議する。そして、ロシアに対し即時、武力行使を停止し、これ以上、犠牲者を出してはならないことを主張します。隣国であるロシアが軍事侵攻を起こしたことは、無関心でも無関係ではられません。これ以上戦争を起こさせないために、今こそ憲法9条の大切さについて再認識しなければなりません。

JR貨物労組青年部は、テロにも戦争にも反対し、憲法9条を守り抜くと共に、社会正義を貫き、平和・人権・民主主義を守る社会の実現を追求していきます。

